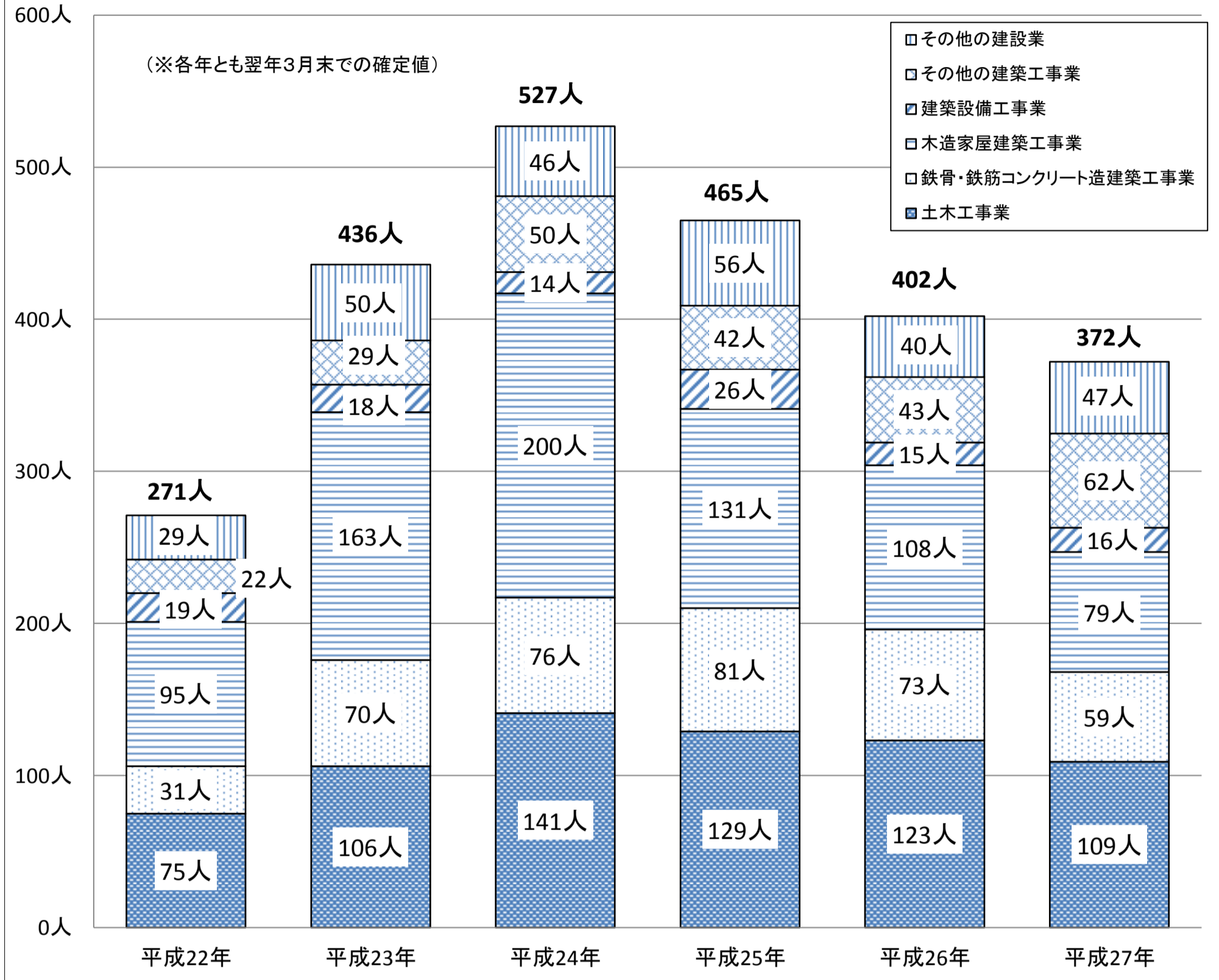


建設業の労働災害発生状況(平成22年～平成27年)(確定値)

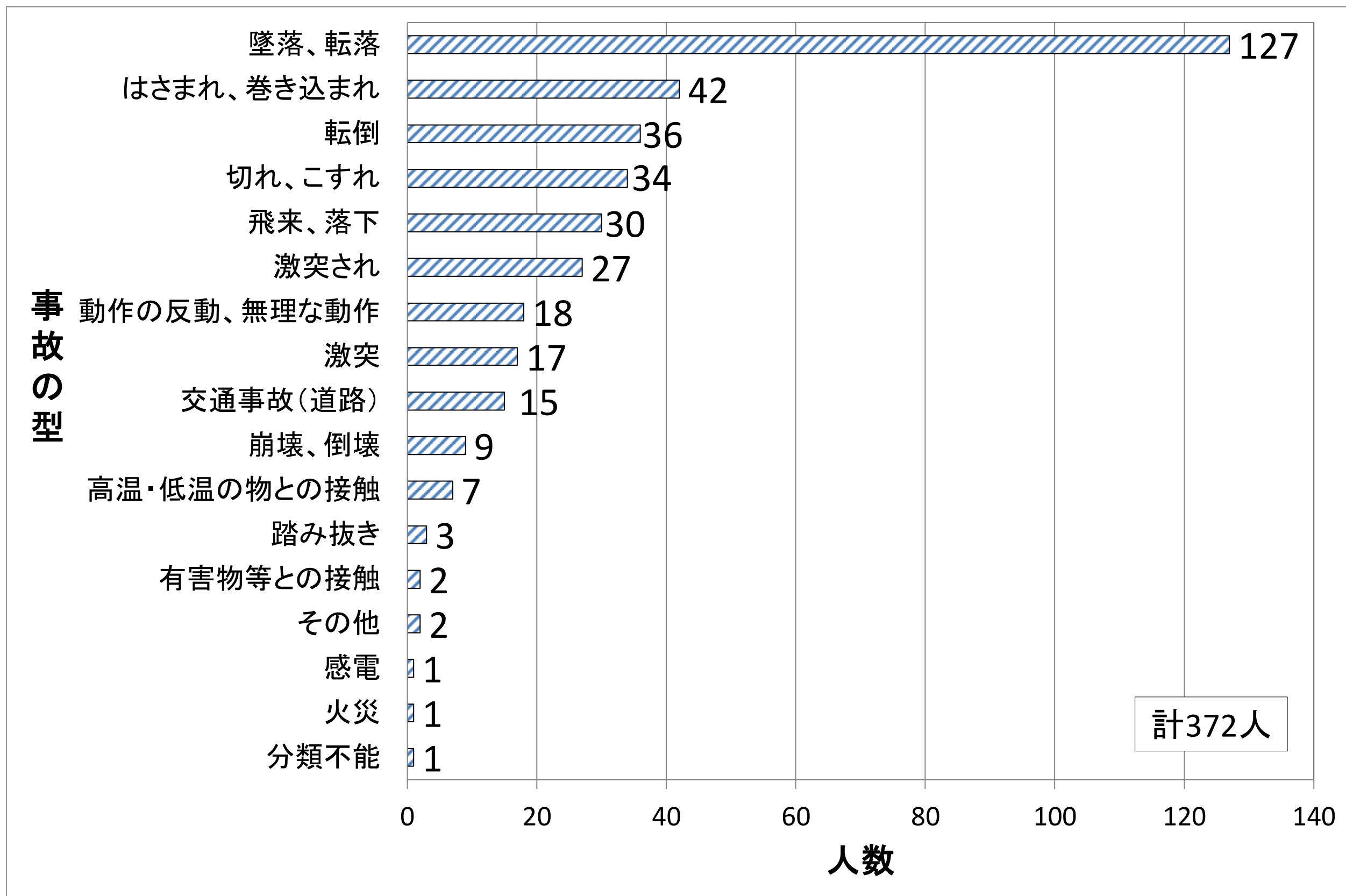


- 平成27年(確定値)の建設業の労働災害は372件と対平成26年比30件、7.5%の減少、対平成25年比93件、20%の減少、対平成24年比155件、29.4%の減少、対平成23年比64件、14.7%の減少となっていますが、対平成22年比は101件、37.3%の増加と震災前の水準を上回っています。
- 平成27年(確定値)の建設業の月ごとの発生状況は、1月32人、2月33人、3月32人、4月35人、5月24人、6月37人、7月31人、8月29人、9月25人、10月37人、11月33人、12月24人です。
- 平成27年(確定値)は、対平成26年比で、土木工事業、鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業、木造家屋建築工事業では前年の件数を下回っていますが、建築設備工事業、その他の建築工事業、その他の建設業では前年の件数を上回っています。
- 平成27年(確定値)の建設業の労働災害372件のうち、事故の型別で最も多いのが墜落、転落で127件、34%、次いではさまれ・巻き込まれが42件、11%、転倒が36件、10%、切れ・こすれが34件、9%の順となっています。また、被災労働者の年齢では、最も多いのが60歳以上70歳未満93件、25%、次いで30歳以上40歳未満70件、19%の順となっています。
- 平成27年の死亡災害は、土木工事業で1件(棧橋の型枠支保工の解体中に鋼材が潜水土に落下したもの)、鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業で1件(寄宿舍の火災で逃げ遅れたもの)、木造家屋建築工事業で2件(2階床面で作業中、移動式クレーンの荷の荷崩れにより落下した荷に当たり、階下に墜落したもの、2階の床板を敷く作業中に階下に墜落したもの)、その他の建築工事業で1件(長時間労働等による精神疾患)が発生しています。

# 建設業の労働災害の発生状況(27年1月～12月)

## 1. 災害の原因別

平成28年3月末(確定値)



## 2. 年齢別

平成28年3月末(確定値)

